

くめじま WORK

2021年度久米島仕事図鑑PJチーム 著

はじめに



比嘉琉也 (ヒガリュウヤ)

- ①久米島高校3年
- ②久米島の好きなところ
→おじーおばーが優しい



高橋芽衣 (タカハシメイ)

- ①久米島高校2年
- ②久米島の好きなところ
→温かくて面白い人が多いところ、自然がいっぱい！



佐伯明音 (サエキアカネ)

- ①久米島高校2年
- ②久米島の好きなところ
→久米島ののどかで落ち着くところや人との距離感が好き



野上優唯 (ノガミユイ)

- ①久米島高校2年
- ②久米島の好きなところ
→人がやさしく、温かいところ、周りに自然が多いところ



清水紀鈴 (シミズキリン)

- ①久米島高校2年
- ②久米島の好きなところ
→星が綺麗で、エビがうまい

藤田裕紀人 (フジタユキト)

- ①久米島高校2年
- ②久米島の好きなところ
→自然豊かで人が温かいところ

水上りりい (ミズカミリイ)

- ①久米島高校2年
- ②久米島の好きなところ
→人が温かいところや歴史が深いところ、海が綺麗なところ



目次

はじめに	2
久米島漁協	4
久米島総合開発株式会社	5
久米島Verde	6
島のケーキ屋 Cercle	7
沖縄県海洋深層水研究所	8
POINT PYURU	9
久米島空港JALグラウンドスタッフ	10
サイプレスリゾートホテル	11
結人舎	12
ちむぐぐる	13
ユイマール館	14
嘉手苅青年会	15
久米島馬牧場	16
お食事処 笑島	17
スイーツフーズ久米島株式会社	18
あとがき	19

海

久米島漁協

「今できることを精一杯楽しむ！」



久米島漁業協同組合とは・・・

漁師さんが漁に出て魚を獲ったり、その魚の競り、加工、商品を販売する。また、漁船の登録手続きも担っている。オンラインショップにて、車海老やもずくなどの特産品も購入することができる。

仕事を始めた

まっかけ

海に関わる仕事をしたかった。高校卒業後、親の負担を考え車海老の養殖場で働き、その後、漁協へ就職

こころがまえ

「1をふくらまして10にすること」

与えられたこと以上のことをするのが仕事だと思う。だからミスを恐れずやってみることが大事！



やりがみ

漁師さんにありがとうと言われると嬉しい。漁業者さんと気兼ねなく話ができて、互いに理解し合える関係を目指している！

せいちょう したコト

- ・人とのコミュニケーション能力
- ・見て仕事を覚えるだけでなく、分からないところ聞くことの大切さを学んだ

くめじまの

すきなとこ

- ・海や山があるところ
- ・泳いだり釣りができるところ
- ・島の人子どもを見守ってくれているところ

アドバイス

「将来何になるのか、よく考えて大学に行くことが大切。何かを求めていくのと、ただ行くのとでは得られるものに大きな差がある」

海

久米島総合開発株式会社

新しいことにチャレンジ！



久米島総合開発株式会社とは・・・

オリックスレンタカー久米島空港店の運営・不動産メンテナンス・車海老の販売を管理・ネット通販も利用して一般の販売を行うなど幅広い業務を行っている。

仕事を始めた きっかけ

偶然久米島を知る機会があり、
まずは「行ってみよう！」とい
うことで来島した。

1日の流れ

- ①オリックスレンタカー久米島空港店に出勤したのち、朝礼にて気をつけること・予約件数の確認する。
- ②受け付け業務や洗車をする。
- ③TwitterなどのSNSを活用して、情報収集・発信なども行っている。



やりがい

やりがいを感じたのは

- ・仕事の成果ができたとき
- ・運営しているオンラインショップの販売で売上が伸びたとき

くめじまの すきなとこ

- ・景色がきれいなこと
- ・他の離島と比較して、島のサイズがちょうどいいところ
- ・本島から近いという強み

アドバイス

たとえ島を離れても、久米島のことを忘れずに、いつか戻ってきて、そこで新しいことにチャレンジしてください！

食

久米島 Verde



久米島Verdeとは・・・

久米島の素材を生かした手作りジェラート屋。緑色のキッチンカーで島内各地で移動販売を行っている。オンラインショップでの販売もしている。

ないよう

- ① 清掃(キッチンカー内、機械)
- ② 販売のための発電
- ③ ジェラート販売

やりがい

お客様との会話や、食べた時の反応を見れる楽しさ、多くの出店の依頼を頂けること。

はじめた時期

2019年11月

(移住してから1年半後)

島に来た理由

子育てがしやすい環境だと感じたため、移住説明会に参加し、久米島に移住した。



くめじまのすきなとこ

久米島で子育てがしやすいところ。地域の方々が、子どもたちを扱うのが上手で、みんなが子どものことを見てくれるところ。

たいへんだったコト

食材から自分たちで作っているため、配合の割合を自分で出すことが難しかった。

アドバイス

外の世界(海外)を知ってほしい。日本以外の世界で、色々見て経験して、刺激を受けて、得たものを日本社会に還元したり、または、世界で活躍してほしい。

食

島のケーキ屋 Cercle

楽しいことは全部して苦しいことは楽しんでやる！



ないう

- ①早朝からケーキを作る
季節やイベントにあったケーキを出している。
- ②お客様の要望に応える
お客様から誕生日用などのケーキの要望を受けることも多い。
- ③販売するケーキをInstagramに投稿

こころがまえ

お客さんをどれだけ喜ばせられるかを考えている。お客さんとの会話の中で今何を求めているのかを感じ取ることをいつも意識している。また飽きさせない工夫もしている。

島に来た理由

海の近くに住みたかったため。今では趣味のバイクで島一周できる。

くめじまの いいところ

- ①買い物中にお客様と会った時「ケーキ美味しかったよ」と声をかけてもらえること。

人との距離が近い

- ②お客様と趣味があった時、話が盛り上がること

やりがれ

お客様から「おいしかった」「セルクルが久米島にあって良かった」などと言葉をもらえること

アドバイス

「若いうちの苦労は買ってでもしろ」という言葉がある通り、苦しければ苦しいほど、経験しといた方が良い。何かで悩んでいるのなら、とことん勉強して、若いうちにしかできないことをたくさんして欲しい。

海

沖縄県海洋深層水株式会社



海洋深層水研究所とは・・・

海洋深層水とは深度200m以深に分布する表層とは違った特徴をもつ海水のこと。ここでは、沖縄県の産業を盛り上げるために、農業や水産分野での海洋深層水の活用に関する研究を実施しています。

仕事を始めた まっかけ

もともと海の生物が好きでそれに関連した仕事がしたいと思った。また、海洋深層水研究所での研究を通して新しい発見をしたいと思った。

1日の流れ

8:00～点検

9:00～車エビの管理

12:00～昼休憩

13:00～ミーティング

養殖場の管理・確認

くめじまの いいところ

ダイビングスポットがたくさんあり、気軽に潜ることができる。

やりがい

養殖場の人たちが自分達の意見や提案を受け入れてくれたとき

こころがまえ

沖縄に住むすべての県民に広く利益がように水産分野で養殖している人たちの助けたい

アドバイス

高校での3年間はあっという間に過ぎるから、やり残すことがないように、自分のやりたいことは積極的にやってほしい



POINT PYURU

自分がしたいと思ったことを口にだす！

POINT PYURUとは・・・

久米島海洋深層水を使用した化粧品の開発、製造、販売などを行っている。「いつまでも安心して使い続けられること」を目指して、沖縄県産の天然素材にこだわっている。



いきなり まっけ

小さい頃からお菓子の裏に書いてある原料材名を見るのが好きだった。化粧を使う年頃に化粧品の原料に興味を持ち、自分で化粧品を作りたいと思うようになった。海洋深層水や沖縄の独特の植物素材を使った研究開発をしているポイントピュールに魅力を感じた。

1日の流れ

ー化粧品開発&品質管理ー

- ①お客様の依頼内容に合わせて試作（お客様のご希望の使用感になるまで）
- ②化粧品に関する資料の作成
- ③新しい材料に関する情報収集
- ④自分が提案したい化粧品の開発

くめじまの いいところ

- ・助け合い、お互い様精神が強い
- ・人がのびのびと生活している
- ・個性豊かに人が育つ
- ・島の人と交流できる
- ・自然が美しく、特に山が好き



やりがれい

- ・お客様から「キレイになった」「使いやすい」などを聞くこと
- ・自分の開発の成功や失敗を仲間と共有したり、試行錯誤するのが楽しい
- ・開発が思い通りに進まないこと

こころがまえ

- 周囲とコミュニケーションを取る
- 自分にできることや周囲から求められることを把握
- 自分の強み伸ばしながら、業務に活かしていく
- チームで商品を作り上げていることを意識する
- 高い目標に向けて、役割を全うする

アドバイス

「やりたいこと、苦手意識のあることなど何でも挑戦していった欲しい。周りを巻き込んで充実した学校生活を過ごして欲しい」

空

日本航空株式会社



久米島と那覇を繋ぐ空の便

仕事を始めた

きっかけ

幼少期から飛行機が好きで、飛行機に関わる仕事がしたかった。2020年10月から久米島空港のグランドスタッフとして働いている。

1日の流れ

- ①グリーフィング(全体)
- ②カウンター受付
- ③グリーフィング(同業務)
- ④カウンター受付
- ⑤オンラインミーティング

やりがい

- ・お客様から「ありがとう」と言われること。
- ・お客様一人ひとりの命が掛っているフライトに携わること。
- ・飛行機の窓から、お客様が手を振りかえしてくる時

島に来た理由

那覇空港に就職して働く中で久米島の良さに気づき、島に恩返しがしたいと思ったから。



せいちょうしたコト

- ・人見知りだったが、アナウンス業務によって人前で話すことができるようになった。
- ・物事を後回しにする性格だったが、すぐ対応するようになった

くめじまのいいところ

- ・島内外の人を含め、人や地域の繋がりが深いところ。
- ・海が綺麗で、気持ちが落ち着く

アドバイス

自分が“ひとつ”でも頑張った経験があると自信が湧いたりする種になるので、そういう経験を大事にすること。失敗も乗り越えて、努力することが成長に繋がります。

空

サイプレス リゾートホテル



サイプレスリゾートホテルとは・・・

観光客がゆっくりとくつろぎことに主眼を置いたリゾートホテル

仕事^{イシ}を始めた まっかけ

<ホテルスタッフになった理由>

- ・自分自身が旅行でホテルに泊まるのが好きだから
- ・美しい離島のリゾートホテルという非日常の中で働きたかったから

1日の流れ

- ①チェックアウトの手続き
- ②チェックインをする旅行者への準備
- ③チェックインしたお客様へのお出迎え
- ④館内・レストランへのご案内

たいへん だったコト

残業が多く、特に夏は休みが少ない。でも、自分の好きな仕事であれば大変だけど楽しい。ずっと憧れだったものになってギャップはない。私がいるからこのホテルに来るといってお客さんを増やしたいと思ってる。



こころがまえ

- ・社会人として当たり前のことを守る（時間厳守、人に迷惑をかけない）
- ・常に笑顔を保つ。お客様の笑顔を見ると、自然と笑顔になれる。

やりがい

お客様が喜んでくれることが一番。当たり前と思われることでも、お客様の要望に答えるために工夫してやった結果喜ばれるととてもうれしい。

アドバイス

「やりたいと思ったことはやってみよう！仕事をするにあたって『自分はここで何がしたいの？』と一つだけでもいいから信念を持ってがんばってみよう。そうすると、いろんなことが見えてきます。」



結人舎とは...

久米島町との地産地消プロジェクトや、地産品を宮城県のセレクトショップで販売するためのプロデュースなどを行なっている会社。

1日の流れ

基本的には ルーティーンがない

- ・季節や天気によってバラバラ
- ・自分で時間は自由に！

(キッチンカーで地産地消を目的とした野菜などを販売も行っている)

やりがい！

生産者さんが喜んでくれることや、手伝ってくれる人が成長していくことが嬉しい！



せいちょうしたコト

全部自分でやらないといけないため、考えて行動に移すことが習慣化した。

アドバイス

「あとで」と「いつか」は一生来ない！
やりたいことは“今”やろう！

くめじまのすきなとこ

- ・みんなが助けてくれるところ
- ・応援してくれるところ
- ・島の住民との距離が近いところ

農

ちむぐくる

～島での経験をバネに～



ここがまえ

家族経営だとしてもミーティングが必要。共通理解がないと教えることも動くこともできない。

1日の流れ

5:00～ 牛小屋の管理

7:00～ 紅芋、サトウキビの手入れ

16:00～ ウォーキング

たのしいこと

家族経営だったら、気も遣わないし、自由に仕事ができるから楽しい。

せいちょう したコト

- ・人を見る目が養われた。
- ・自分自身を振り返ることもできた。
- ・人との関わりを通して、客観的に考えたり、自分をコントロールすることができるようになった。



くめじまの

すきなところ

自然（朝日、夕日、星空）、久米島に住む人、見える場所全部が良い！

＜好きな場所＞

自分の畑、ティーダ橋、黒石森公園

アドバイス

高校生のうちが1番楽しいから、三年間色んな人と関わって欲しい。
久米島で経験したことバネにして、社会で自立できる人のなってほしい。
そして、いつでも故郷として久米島に帰ってきてほしい。



久米島紬の里 ユイマール館

～織子さんの気持ちを伝える～



ユイマール館とは・・・

久米島の伝統工芸品である「久米島紬」を製造する久米島紬事業協同組合が運営する工房。久米島紬の歴史や作業工程などの展示もしている。仕事内容としては、織子さんが織った紬を販売したり、必要な染料を採取したりすること。

仕事を始めた

まっかけ

久米島高等学校卒業後、一旦は沖縄本島にて就職するも、仕事が合わなかったため久米島に帰島。その後、久米島高等学校で取った資格を活かし、ユイマール館に就職した。

たいへん だったコト

- ・高級品である紬を販売すること
- ・老朽化する施設を維持すること
- ・自然由来なため、紬で同じ色は作れないこと

アドバイス

自分がやった分は自分に必ず帰ってくる。
思いっきりやって！

1日の流れ

染色に用いる花に水やりを行う。紬の注文・取引状況を確認するなどの事務処理をする。また、紬のデザインを記録しておく。



やりがれい

- ・織子さんが笑うこと
- ・この仕事をしていれば60代で定年しても帰ってこれる
- ・紬の話で笑顔になれる

くめじまの

すきなどこ

- ・島民が優しいところ
- ・自分がやりたいことを協力してくれる人が多いところ
- ・ユイマール（助け合い/一緒に頑張ろう）精神が多いところ
- ・自然が豊かなところ



久米島商工青年部とは・・・

地域に居住する青年によって組織される団体のこと。事業をしていて商工会に入ると青年部に入ることができるとのこと。

仕事を始めた
まっかけ

当時の青年会部長に誘われたことや周りの仲間が入会していたことため。

ないう

月に一度程度集まり、久米島祭りの企画を考えたり、地域の清掃活動やパークゴルフ大会の開催など様々な活動を行っている。



くめじまの
すきなところ

- ・自然が豊かなところ。
- ・小さい頃から住んでいるため、もともと島に愛着がある。
- ・人がたくさんいない、静かなところに行くのが好き

やりがい

久米島島内外で青年会として活動することで、本業にも繋がることもある。

アドバイス

学習に限らず、遊びにしても戦略を立てることが重要。もし興味があるなら海外に留学するのも良い。やりたいことが見つからない場合は、何かしら興味のある資格を取ってみることで世界が広がるかも。

生

久米島馬牧場



久米島馬牧場とは・・・

自然豊かな久米島で、馬をのびのびと放牧して育てている。主に、観光客への乗馬体験の提供をしている。

仕事を始めた

まっかけ

大好きな与那国馬と関わりたくて、久米島馬牧場で働くことに。馬を放牧して育て、馬とのコミュニケーションを取ることを大切にしたい久米島馬牧場の、馬との関わり方に共感している。

やりがい

自分や馬のファンが増えるとき。乗馬体験で馬がイライラせずに楽しめていると嬉しい！一生懸命刈った草を馬が食べてくれるとき。



くめじまの

すきなとこ

- ・自由でいられること
- ・離島だからこそ、馬を自由に育てることができる
- ・人が温かいところ

5年経ってより久米島に愛着が湧いた。

どんどんはまっていく。

1日の流れ

6:00 ～ 草刈り

8:00 ～ 馬の健康確認

馬とのコミュニケーション
(新しい放牧地を作る)

12:00 ～ 乗馬ガイド

～夕方 馬のお手入れ、

牛やヤギの餌やり

たいへん だったコト

馬の魅力を上手に伝えることが難しい。馬の行動に対してお客様が誤解を抱かないよう、適切な状況説明を心がけている。

こころがまえ

馬にちゃんと向き合うために、自分の気持ちや体調にうそをつかない。仕事に気持ちが向かなくなったら、一度離れてリフレッシュするようにしている。

アドバイス

「今やっтерことに苦しくなったら、一旦離れてみて！」



ゆくい処 笑島



ゆくい処 笑島（わしま）とは・・・

久米島の海が一望できる飲食店。2019年にシンガポールで開かれた「にっぽんの宝物」世界大会でグランプリを獲得した、店自慢の「車海老そば」が有名！

仕事を始めた

きっかけ

京都の料亭で働いていて、いつか独立したいと思っていた際、第2子が生まれ、これを機に故郷である久米島に帰ってきた。

1日の流れ

- ①仕込み
- ②お店での営業
- ③釣り・魚の準備/買い出し
- ④仕込み/ディナー営業

島に来た理由

自然が豊かで、いつでも触れ合える環境を自分の子どもたちに経験させたかったから。



くめじまの

すきなところ

人の目を気にしないで、好きなことを自由に、開放的な生き方ができるところ

こころがまえ

安心・安全、美味しく、地産地消

やりがれい

自分の料理を食べて「おいしい」と言ってくれるお客様や、日本全国から年に何回も訪れてくれるリピーターの方々、車えびそばをテレビやネットで見てお店に来てくれるお客様が増えてきたこと。

アドバイス

どんな進路選択をしても、結局は自分の好きな事をすると思うから、自分が好きな事を大切にしてほしい。



SWEETFOODS

久米島株式会社



SWEET FOODS久米島株式会社とは・・・

自社農場で生産された紅芋のみを使用して、紅芋ペーストや紅芋パウダー等に加工し販売を行い、地域経済の活性化と雇用の確保に貢献できる社会を目指しています。

ないよう

芋洗い→品種ごとに捌く
→それぞれの製品に合わせた製造を行う。
直営農場で働いている正社員や
契約社員で役割分担している。

こころがまえ

商品を扱う上で、衛生面に気を配り、徹底的に安全管理を行うこと。

くめじまの すきなとこ

久米島の綺麗な海が職場の前にあるため、海を見ながら仕事ができ、とても落ち着くこと。



たいへん だったコト

24kgの芋を運ぶこと。
収穫日によっては1日1トンの紅芋を収穫することもあるが、7名で洗って捌くこと。

やりがい

久米島に住む個性豊かな住民や心優しい方など、今まで関わりのないタイプの人と関わることが楽しい。おじー同士のうちなーぐち(方言)での会話を聞き取るのが難しいが、聞いていて楽しい。

せいちょう したコト

お客さんとのやり取りやクレーム対応において、少し意見が言えるようになった。

アドバイス

自分が何をやりたのかしっかり考えて、それに向かって頑張るほしい。一度島から出て、久米島で仕事がしたいと思ったら帰って来てほしい



あとがき

私たちは、久米島WORKを作成する活動を通して、次のような学びを得ました。

お話を聞いて、人それぞれの考えや価値観を聞いたのがとても面白かった！どんな仕事でもその人なりの学びが沢山あるのだと思った。あと、仕事にやりがいを持って働けるって素敵だなと思った。自分の好きなことを仕事にできると、新しい知識や技術を得るのが楽しいと思う。私もそんな、自分のやりたいを満たす仕事をして、人に良いものを届けたい。(高橋芽衣)

この活動を通して、実行に移す事の難しさを学びました。この活動を始めて、完成までに約1年程かかりました。最初は、案を出す事から始まったのですがすぐに終わらせる事ができるだろうと思っていました。しかし、実際に取材や編集が加わると、思い通りにいかず、集まりを持つ事も難しくなっていました。この経験を経て、これからは責任を持つこと、最後まで成し遂げることを心がけようと思います。(野上優唯)

活動の中で、一つのパンフレットを作るのにどれだけの時間と人が関わっているのかなどを知り、そう簡単に作れるものではないことを学んだ。そして、パンフレット以外の仕事でも一つのものができるまで、作った人の努力と思いが詰まっていることを知り、もっと大事に物を使っていこうと食べていこうと思った。(佐伯明音)

パンフレット作りは細く相手の話を聞き、書き留め無ければならないので大変でした。途中で思うように進まず迷惑をかけてしまったので、責任を持って活動をしていこうと思いました。高校生が島の人とたくさん関わって作った物なので、たくさんの人に読んで欲しいです！(水上りりい)

初めて沢山インタビューをして、相手に伝わるように話すことやメモを瞬時にとるなどするのが大変でした。

僕は初めての経験が沢山あったのでとても良い経験になったと思います。今回の経験を活かしてもっと久米島の良さを周りの色々な人に伝えていき、島に貢献していきたいです！(藤田裕紀人)

今回のこのパンフレット作りで初めて久米島の仕事について深く知ることができました。久米島の方々はそれぞれが仕事に対して誇りを持っていることが素敵だと思いました！今回学んだことを自分の進路にも生かしていこうと思います。(清水紀鈴)

この企画に参加して、久米島でしか出来ない仕事がたくさん知れたので良かったです。職場の方々に質問をしたり、体験も出来たのでとても貴重な事ができました。スタッフの方やプロジェクトのメンバーにとっても感謝しています。(比嘉琉也)

